

## 令和2年10月28日以前に業務委託料算定プログラムを ダウンロードされた方へ（お知らせ）

- (1) 業務報酬の講習会以後の Q&Aにて業務人・時間数の端数処理方法についての解答が出ましたので、それに従い訂正しました。

訂正前は、業務人・時間数が 1000 以上 100 位で切り捨て、1000 未満は 10 の位で切り捨てとしていましたが、面積が小さい場合は、直接人件費が 0 円となる不具合が生じていました。

Q&Aでは業務『業務人・時間数が 100 以上 1000 未満の場合は 10 の位で切り捨て、1000 以上の場合は 100 の位を切り捨てる端数処理』となっているため、これに準じ訂正しました。

訂正前は 100 未満も全て切り捨て方向でしたが、今回の訂正で 100 未満は切り捨てを行わないため、端数分業務人・時間数は増える事になります。

- (2) 表中の最終業務量には、「計画通知、又は確認申請」の値が入っていないため、表外 (A)直接人件費の最終業務量と値が違う不具合が生じていたため、表中の(最終業務量)を総業務量とし、備考欄に「最終業務量：総業務量 + 計画通知、又は確認申請」と説明を記載しました。

- (3) 保護が掛けられてなかったため、間違っでデータを書き換えてしまう不具合が生じるため保護を掛ける事としました。 2020.02.12 ver03

- (4) 「適用規模」の範囲外に対する注意事項を取り扱い説明に記載 2020.10.2 ver04

- (5) 監理項目の細分率の入力が積算に反映されず、業務対象率が全て 1.00 となっていたため入力を考慮するよう訂正しました。 2020.10.23 ver05

- (6) 積算シートの監理項目の業務対象率総業務量に反映されていなかったため、訂正しました。 2020.10.28 ver06

(7) 標準業務量[人・時間]に細分率を考慮した値を表示していましたが、 $A = a \times S^b$  による業務人・時間数に変更しました。

2020.10.28 ver06